



NEWS LETTER

No.21
2017

6月28日(水)

男女共同参画セミナー

「多様な人材を活用するための人事選考のあり方 ~Beyond the Bias and Barriers」

6月28日、男女共同参画セミナーを小白川キャンパスで実施しました。本学は、文部科学省よりダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)の採択を受けています(大日本印刷株式会社研究開発センター、山形県立米沢栄養大学と連携)。このセミナーはダイバーシティ事業として開催し、3年目を迎えた本事業の成果を報告するとともに、男女共同参画を推進するための人事評価について研修を行いました。



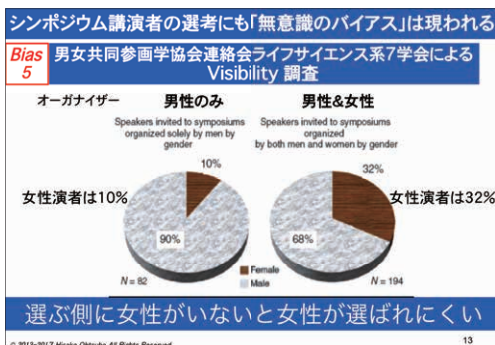
大坪久子 氏

教職員や一般の方に加え、学長はじめ本学管理職や企業・行政の人事担当者など78人が参加しました。米沢・鶴岡キャンパスや千葉県柏市(大日本印刷株式会社)にもテレビ会議で中継しました。



学長 小山清人

講演は、日本大学薬学部薬学研究所の大坪久子上席研究員を講師に迎え、「多様な人材を活用するための人事選考のあり方」をテーマに講演いただきました。講演では、人事選考における「無意識のバイアス」の影響について、ジェンダーや職業、学歴などに基づく無意識の先入観や偏向の例が紹介され、「マイナスに働くことの多い潜在的なバイアスやバリアの存在を認識し、取り除いていくことが、多様な人材の確保や育成において重要である」と強調されました。



一例として、「シンポジウムのオーガナイザーが男性ばかりのときには講演者に女性が選ばれる割合は低く(10%)、オーガナイザーに女性が入れれば講演者の女性比率は格段に上がる(32%)」という調査結果(男女共同参画学協会連絡会 Visibility 調査)がありました。「選ぶ側に女性がいないと女性が選ばれにくい」という典型的なバイアスの存在を示しており、人事担当に女性を加えることが望まれる理由がここにある。」と大坪氏は説明し、さらに「学会や大学での運営で指導的な立場にある理事職にも複数の女性の登用が望まれる」と提案されました。

一方、女性の側のバイアスに関して、IBMでは「馬に乗ったら絶対降りるな」という「申し送り」が代々の女性幹部候補生に伝わっているという話が紹介されまし

た。「自分から馬に飛び乗って疾駆する女性と背中を押されて一抹の不安を抱きながらも馬に乗る女性の比率はほぼ半々、しかも馬に乗ったあとはどちらも遜色なく活躍する」とのこと。「女性研究者の能力を最大限に発揮するには、彼女たちを馬の背中に押し上げる名伯楽が必要」という言葉が、印象に残りました。参加者からは「意識改革の必要性がわかり、興味深かった」との声が寄せられました。

本学においても、人事に係る委員会への女性の参画やライフイベントに配慮した人事のあり方が今年度の課題になっており、このたびの講演会は貴重な研修の機会となりました。



ワーク・ライフ・バランスを見直しましょう ~「働き方改革」は身の回りから~

- ☑ 毎年度、働き方・休み方に関する制度やルールなどの確認をお願いします。
- ☑ 各部局の「ワーク・ライフ・バランス懇談会」にぜひご出席ください。
- ☑ 「山形大学教職員のための出産・子育て・介護に関する制度」(パンフレット)をご活用ください。

(2017年3月発行。男女共同参画推進室HP参照)

ジェンダーサミット10に参加しました!

5月25日(木)~
5月26日(金)

5月25日、26日東京で開催されたジェンダーサミットに本学はパル協賛会員として協力し、教員5名が参加し、ダイバーシティ研究環境イニシアティブ事業(連携型)のポスター発表を行いました。また、本学の河野銀子先生(学術研究院地域教育文化学部担当教授)はワーキンググループのchairを務めました。

メルマガ「ぱれっと通信63号」から感想を紹介します。



一橋講堂の会場



ポスター発表

GS10に参加して…

「ジェンダーサミット (Gender Summit (GS))」はジェンダーの視点を取り入れて研究やイノベーションの質の向上を図ることを目的に、2011年に欧州で発足し、世界各国で開催されている国際会議です。日本で初めての開催となる今回は「ジェンダーとダイバーシティ推進を通じた科学とイノベーションの向上」というテーマのもと、2日間で23の国と地域から約600名が参加しました。

キーノートスピーチやプレナリーセッションでは日本をはじめとするアジアや世界の先進事例や深刻な課題が取り上げられ、科学技術とイノベーションの発展にはダイバーシティが不可欠であるということが強調されていました。中でも興味深かったのは「女性参画拡大により期待されるイノベーション上の利点の具体化」についての平行セッションでした。

日本の経済産業省の代表は、今年3月にまとめたダイバーシティ2.0について発表し、現在進めている女性の活躍推進に加え、国籍・年齢・キャリア等多様な属性の違いを活かし、付加価値を生み出し続ける企業を目指し継続推進することを述べました。自動車産業からは、ダイバーシティを経営戦略として位置づけてトップダウンで取り組んでいる日産が事例発表を行いました。現在自動車免許取得者の45%が女性であること、自動車購入決定時の56%で女性が大きな力を持っていることから、ミニバン・セレナの開発の裏には、企画・開発・生産・販売の各段階において女性研究者や女性社員の視点を反映させる組織を整えたそうです。その結果、セレナは子どもを抱っこしたままドアを開けることができる「ハンズフリーオートスライドドア」等子育て中の女性や家族が使いやすい機能が評価され、販売台数が増加したそうです。

世界が進んでいるのは当たり前で、日本は遅れていると思っていましたが、このほかにも素晴らしい取り組みや事例が報告され、ディスカッションも盛りだくさんのものでした。山形大学はJSTのダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業についてポスター発表を行い、大学におけるダイバーシティ推進をアピールすることができました。GS10では「東京宣言：架け橋 (BRIDGE)」として3項目が

発表されました。ぜひご覧ください。

<http://www.jst.go.jp/diversity/activity/report/report09.html>

(文責：担当コーディネーター)

男女共同参画推進室ではメルマガを毎月発行し、事業の予定などをお知らせしています。

HPの「刊行物」をクリックしてみてください。



大学院進学セミナー「キャリアトークイベント“女性研究者と話そう”」

6月30日(金)

工学部において、6月30日にフロンティア有機材料システム創成フレックス大学院との共催で、女性の学生・大学院生・教職員を対象に、「きらめくチャンスをつかまえて! 理工系は女性の可能性を広げる」(丸善出版)の著者である小舘香椎子氏(日本女子大学名誉教授)を講師にお迎えし、進学や就職に関する悩みや理系女性研究者のキャリア形成について、講演会と懇談会を行いました。アンケートでは、「身近にロールモデルがいなかったため、将来に不安を感じており研究するのをやめようと思っていたが、もう少し



続けてみようと思いました。」(大学院生)「男女ともに、教員は多彩なキャリアパスを提示してあげることが重要だと思いました。」(教員)などの感想が寄せられました。

※本学では、今年度から理工系の女性大学院生のネットワークづくりに取り組み、キャリア形成を支援していきます。登録いただいた方に、研究者や仲間との懇談会、高校への出張授業、企業留学などの案内を差し上げます。希望者は男女共同参画推進室にご連絡ください。



男女共同参画フェスタ2017

～LGBTについて考える～(ポスター展示)

小白川:6/21(水)～30(金)
米沢:7/7(金)～14(金)

ダイバーシティとは

ダイバーシティとは、性別や年齢、障がいの有無などに限らず、多様な人材を積極的に活用し、様々な働きかたを容れようという考え方のことです。日本語では「多様性」とよく訳されますが、正確には Diversity and Inclusion (多様性と包摂性)を意味した言葉です。

すべての人は平等であり、多様な個性を持った人々が尊重される社会をめざす必要があります。ダイバーシティが進むとどうなる？

多様な人々が個性や能力を発揮できるようになり、新しい価値が創造され、豊かな社会づくりに結びついていきます。すでに、グローバル企業をはじめ、多くの企業がダイバーシティ経営に積極的に取り組むようになっています。科学研究においても女性研究者の活躍が期待されています。

性のあり方を考えてみよう！

性のあり方は2つだけではありません。
身体的性別により社会的、法律的に割り当てられた性と異に、様々な性があります。様々な性のあり方を生きている性的マイノリティ(少数者)の中から代表的な4つのあり方をまとめた表がLGBTです。

LGBTとは
レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの英語の頭文字を組み合わせた言葉です。
Lesbian レズビアン 女性同性愛者
Gay ゲイ 男性同性愛者
Bisexual バイセクシュアル 両性愛者
Transgender トランスジェンダー 出生時に割り当てられた性別とは異なる生きかたをする人

実際には、LGBT以外にも多くの性のあり方が存在しています。

LGBTとよく表現されますが、これに含まれていないセクシュアリティも多く存在しており、その間にLGBTQ+、LGBTQ2+などと表現されることもあります。それぞれの性にはそれぞれの特徴があります。

1...クィア or ケスチョニング(セクシュアリティのアイデンティティについて未確定の人)
2...1to=1to(北アメリカ系の文化で、男女二つの魂をもつ存在とされる性的マイノリティのありかた)

博識堂Dグループの株式会社LGBT総合研究所の調査(2016年4月)では約8%が性的少数者であると回答したとの報告があり、身近な存在であることがわかります。

「性」を考える時のポイント

性自認	性的指向	性表現
自分の性別をどう認識するか	好きな相手との性	服装、しぐさ、言葉遣いなど

LGBTが直面する社会的困難

わかりやすく説明するために、ここではLGBTとしていますが、性のあり方は多様なので、共通する困難もあれば、そうでない場合もあります。特にLGBTとTでは、異なってきます。下記はあくまで一例です。

幼少期・青年期
LGBT共通: 友人・仲間ができない
自分: 自分は何者なのかわからない
T: 自分は男らしいの? いじめ、仲間はずれ

成人期
LGBT共通: 就職が困難
性差別の被害が深刻な場合、性別欄をどう書けばよいかわからない
T: 自分があつた性が見つからない
LGBT共通: 買性愛者を前提とした福利厚生など、働きにくさ
T: 貧困、君は男らしくないね〜

パートナーシップ
LGBT共通: パートナーシップの法的に認められない...
T: 法的に認められない...
LGBT共通: 結婚の法的なメリットが享受できない
T: 法的保障がない
LGBT共通: DVの被害が深刻

老年期
LGBT共通: 老後の不安
T: 老後の不安
LGBT共通: 自認している性別で介護を頼むべし...
T: 不安

差別
周囲からの差別的言動による苦痛・不利益

自殺リスク
差別やいじめに耐えられず自死

健康リスク
医療機関がトランスジェンダーに無理解で受診を控える等

性別変更が難しい
要件が厳しく、なかなか性別変更ができない

-アライ-による支援
当事者ではないが、LGBTなどの性的マイノリティを理解し支援する人のことを言います。英語の「同盟者、協力者、支持者」を音訳したLが強調と行われています。ダイバーシティを推進するためには職場や学校のアライの存在が重要です。



学内の相談窓口を下記のとおり開設しました。
ダイバーシティの視点から理解を深めていきましょう。

国の取組み

- ◆「国家公務員人事管理指針」の改正
2017年、LGBTへの差別をなくす取組みが大企業を中心に広がっていることから、国家公務員の人事管理指針に、「性的指向や性自認に関する不当な差別」に関する配慮について明記しました。
- ◆自殺総合対策大綱の見直し
2012年の見直しにより性的マイノリティに関しての対策も盛り込まれ、閣議決定されました。
- ◆「男女雇用機会均等法」の改正
2014年の改正では、性的マイノリティに対する差別的言動もセクハラであることが明記されました。2017年の改正では、性的指向、性自認によらず対象であることが明記されました。
- ◆2015年、文部科学省の通知「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」
性同一性障害の児童生徒への配慮や性的マイノリティ児童生徒への相談体制等の充実を図るよう全国の教育委員会などに通知されました。
- ◆いじめ防止基本方針の改定
2017年、「いじめ基本方針」にLGBT児童への対応も盛り込まれ、全国の教育委員会などに通知されました。

自治体の取組み

自治体では、2013年に大阪市淀川区が全国で初めて「淀川区LGBT支援宣言」を発表し、「レインボー、はじめました!」というキャッチーなフレーズが話題となりました。2015年には、東京都渋谷区が全国で初めて「同性パートナーシップ証明書」を発行する条例を制定しました。その後も複数の自治体がLGBT支援を進めています。

2015年沖縄県那覇市、2015年和歌山県橋本市、2016年岐阜県関市、2017年沖縄県浦添市

企業の取組み

- ◆2012年 LGBTに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体work with Prideが発足
- ◆2016年 任意団体work with PrideによるLGBTに対する企業等の取組みを評価するPRIDE指標の策定
- ◆2017年 日本経済団体連合会が「ダイバーシティ・インクルージョン社会の実現に向けて」LGBTの社員や顧客に対する差別的禁止や配慮を求める提言を発表

POINT!⇒2014年にオリンピック憲章にLGBTの人たちに対する差別を禁止する規定が盛り込まれたことを受け、2020年の東京五輪に向けて、大会に関係する物品やサービスを提供するすべての企業に対し、LGBTの人たちへの差別を禁止するルールが初めて定められました。これにより、企業のLGBT施策が加速する可能性があると言われています。

*性的マイノリティに関する相談 ジェンダー・セクシュアリティに関すること、ハラスメントに関すること、カミングアウトに関することなど

[窓口]

山形大学男女共同参画推進室 Tel: 023-628-4937 E Mail: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

保健管理センター Tel: 023-628-4154 E Mail: nsroom@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

富安 亮子 先生

学術研究院(理学部担当)
准教授



ここ何年か、高校生向けに数学の話題を紹介して欲しいという依頼が突然よく来るようになった。最初は何の準備もなく慌てたが、人の講演を散見したところ、数学研究者が行う一般向け講演が面白くなる場合は主に2種類あるようだ。一つはその人に、数学の面白い話題を見つけてくるプロデューサーの才能があった場合、プロデュース力は研究でも極めて重要な能力だから、まずそういう人は一流の数学者だし、他の職業数学者もわくわくするような話をしてくれる。二つ目は趣味が高じて、その人の中で本職の数学と趣味(例えば、ゲーム、野球、チョークアートなど)の奇跡的融合が起きてしまった場合で、こちらは学生時代に数学があまり好きでなかった人の関心も誘うような話をしてくれる。融合があまりに進むと新しい研究分野になってしまって趣味とは言えなくなってしまうが、それはそれで多数の例がある(例えば折り紙など)。数学自体は無色透明無味無臭の極めて抽象的な代物なので、そういった融合は起こりやすいのかもしれない。

どちらかと言えば女性寄りとみなされる趣味にお菓子作りや裁縫があるが、私の知っている人に、そういった自分の得意分野をサイエンスコミュニケーションの分野に導入して成功した^[1]人、またはこれから導入しようとしている人がいる。ただし、数学分野ではなくサイエンス分野の人で、しかも導入しようとしているのはミシン中級者でもある男性だ。こんな方法は私にはまず思いつかない。

子どもがいて忙しい今は大した趣味のない私だが、上記の高校生向け講演がきっかけとなって、女性受けしそうな方向で数学を紹介している本を探してみた。まずTED^[2]の講演がきっかけで書かれた「恋愛を数学する」はHannah Fryという複雑系理論が専門の数学者が書いたもので、9章にわたって(数学科の?)飲み会のネタにでもなりそうな男女の話題があげられている。文献リストを見ると元ネタとなった数学の論文が紹介されているので個人的にはそちらも興味を引かれた。

「好きなもの(数学・研究)について語るときに母が語ること」

“Crocheting Adventures with Hyperbolic planes (双曲平面を使ったかぎ針編みの冒険)”, は上記のミシン男子つながりで、その手の本がないかと探して見つかった。この本の作者でもある女性数学者が、双曲平面と呼ばれる幾何構造を教える方法論について書いた論文が、思わぬ広がりを見せて色鮮やかなサンゴ礁をかぎ針編みで再現し地球温暖化に警鐘を鳴らそうという国際的な活動にまで発展したという^[3]。登場する数学について少し説明すると、定曲率と呼ばれる平面には、曲率が正のもの(球)、曲率が0のもの(平面)、曲率が負のもの(双曲平面)がある。自然界の例を挙げると正曲率のものは例えば果物(ミカン、スイカなど)だが、これは果実の表面積を増やさず体積をできるだけ大きくしようとした結果と考えられる。逆に、体積を増やさず、表面積をできるだけ大きくすると、サンゴ、海綿などの海の生き物によく似た負曲率の構造が得られる。これはちょっと驚くべきことで、というもこのように身近な例がありながら、ユークリッド幾何学が創始されてから、数学者が双曲平面を発見するまで(つまり「ある直線 l と l 上でない点 P があったとき、 P を通り l と交わらない直線はただ一つ存在する^[4]」というユークリッド幾何学の5番目の公理が、他の4つの公理^[5]からは導かれないことをロバチエフスキー、ポヤイ、ガウスらが示すまで)2000年もの年月を要している。

かぎ針編みで作られた曲面はサンゴと違って柔らかいので、編み上がったものは、双曲平面上に平行線がたくさん(実際は ∞)にあることの直観的な説明に使うことができる。具体的な作り方としては、目の数の少ないリングから始めて、一周に要する網目の数を一定の割合で増やしていくことで双曲平面を編むことができるらしい。しかし私のような編み物をやってみたことがある程度の初級者には、上記の本に書いてある情報だけから、例えば本の表紙にあるようなオーナメントを作るのは正直かなり難しい。頑張ればハイハイする時期の子どものスポンも同じ原理で作れるようだ^[6]。

もう少し低年齢の女の子向けと言えば、小学生の頃、地元の小さな図書館で見つけた「アリスの算数パズル^[7]」を思い出す。アリスの物語とテニエルの挿絵、小学生の知識で解ける謎かけを同時に楽しめるこの本を、当時の私は原作の魅力を数倍増した面白さと思っていたが、調べてみたらこの本は

現在まで再版を重ねている。今も全国の数学女子に影響を与え続けていることだろう。

- [1] 「チョコレートサイエンス」(高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所企画)
<http://www2.kek.jp/imss/education/chocosci/>
- [2] TED講演: ハンナ・フライ「愛を語る数学」
https://www.ted.com/talks/hannah_fry_the_mathematics_of_love?language=ja
- [3] TED講演: マーガレット・ワーザイム「珊瑚とかぎ針編みに見る美しき数学の世界」
https://www.ted.com/talks/margaret_wertheim_crochets_the_coral_reef?language=ja
- [4] P を通り l と交わらない直線は l の「平行線」なので、平行線公理と呼ばれる。
- [5] 以下の4つ。平行線公理は、以下の4つほど自明な仮定とはみなされなかったという事情が背景にある。

1. 点と点は直線をつなぐことができる。
2. 線分を延長して直線にすることができる。
3. 任意の中心点と半径を持つ円を書くことができる。
4. 全ての直角は(角度として)等しい。

[6] “Making Mathematics with Needlework: Ten Papers and Ten Projects”, Sarah-Marie Belcastro, Carolyn Yackel (編), A K Peters/CRC Press (2007).

[7] 「ふしぎの国のアリスの算数パズル」と「鏡の国のアリスの算数パズル」, 山崎 直美 (著・翻訳), さえら書房.



退任挨拶 チーフ・コーディネーター 木村松子 (2017年3月退職)

7年半、山形大学で男女共同参画の推進に携わることができ、多くの方々に支えられましたこと感謝しています。頼もしい新メンバーを加えて、新たなスタートを切りました男女共同参画推進室を今後も益々、ご活用ご支援くださいますようよろしくお願いいたします。大変お世話になりました。



木村先生(中央)とジェンダーサミット参加者

編集後記/退職された木村先生には、男女共同参画推進室のスタートから文部科学省人材育成補助事業の立ち上げまで、本学の男女共同参画の推進のために尽力いただき、心から感謝申し上げます。この春に研究をまとめた著書も出版され、寄贈いただきました。不慣れですが本紙を引き継ぎ、ネットワークを広げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。 (2017年7月 チーフ・コーディネーター 井上榮子)



山形大学男女共同参画推進室

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
TEL 023-628-4937/4938/4939
E-mail y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
<http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>